〈SDGs〉関連するゴール

福島県いわき市

観光地としての認知度を高め新しい人の流れを作り出す

ワンダーファーム内のトマト収穫体験施設

シャトルバスの周遊ルートに含まれる四倉海岸

総事業費
30,000 千円
寄附額
4,999 千円（2017 年度）
寄附企業
◇東日本旅客鉄道株式会社

いわきツーリズム魅力発信事業

いわき市は、2011 年 3 月の東日本大震災で甚大な被害を受けましたが、官民が一体となり、様々な分野で復興に対する取組を進めています。しかし、観光に関しては、原子力災害の風評等の影響もあり、2015 年度の観光交流人口は 808 万人と、震災前の 2010 年の 1,073 万人と比較して約 75% にとどまっており、観光地としての魅力向上が課題となっています。

そこで、複合型農業テーマパーク「ワンダーファーム」等を中心とした観光施設を周遊するモニターツアーの実施や、観光のハイシーズンに「ワンダーファーム」や「アクアマリンパーク」など観光施設を周遊するシャトルバスの運行といった施策を展開し、観光地としての認知度を高めるとともに、市のイメージ向上を図っています。

プロジェクト

- 首都圏住民を対象とした観光施設周遊ツアーの実施
- 観光ハイシーズンにおける周遊シャトルバスの運行

数値目標

- ○ **観光交流人口**
  8,083,906人（2015年12月）
  →9,500,000人（2019年12 月）
- ○ **モニターツアー参加人数**
  0人（2017年1月）→1,000人（2020年3月）
- ○ **シャトルバス利用者数**
  0人（2017年1月）→2,000人（2020年3月）

アクアマリンパーク

CHECK!

取組のポイント

本事業に対しては、いわき市内に所在する農業生産法人 JR とまとランドいわきファームに出資している「東日本旅客鉄道株式会社」が寄附を決定しています。また、農業生産法人 JR とまとランドいわきファームは市の交流人口の拡大に向けた企画についてもサポートを行っています。さらなる寄附企業の募集に向けては、市内に工場等を有するいわき市外企業に事業を案内しています。

JR とまとランドいわきファームに隣接する農業体験施設「ワンダーファーム」